

(概要版)

中学校職場体験学習における望ましい勤労観、職業観の育成を目指した指導の工夫

— 学習プログラムに基づいた「振り返りシート」の活用を通して —

長期研修員 青木 政明



この研究は、職場体験学習の充実を図り、生徒に望ましい勤労観、職業観を育成することを目指したものです。

研究の背景とねらい

研究の背景

社会的課題

- ・ 就職、就業をめぐる環境の激変
- ・ 雇用システムの多様化・流動化
- ・ 求人状況の悪化



教育的課題

- ・ 精神的、社会的自立の遅延
- ・ モラトリアム傾向
- ・ キャリア教育をめぐる課題



国・群馬県の方針・・・体験的な活動や自己の生き方を考える学習を積極的に取り入れること。

職場体験学習を充実させ、望ましい勤労観、職業観を育てることが求められている。

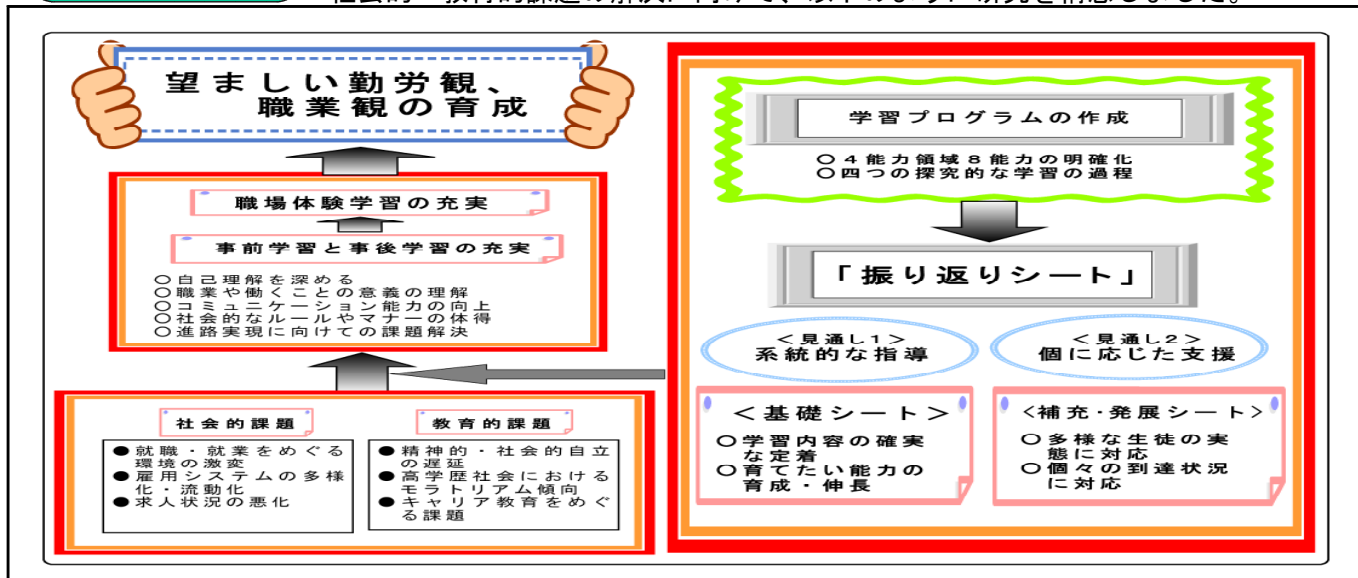
研究のねらい

中学校職場体験学習における学習プログラムを作成し、それに基づいて作成した二種類の「振り返りシート」の活用を通して職場体験学習の充実を図り、生徒に望ましい勤労観、職業観を育成することを目指しました。

研究の経過

研究構想図

社会的・教育的課題の解決に向けて、以下のように研究を構想しました。



「望ましい勤労観、職業観」について

本研究では、望ましい勤労観、職業観を「自己や職業についての理解を基に、自己の個性や興味・関心を生かした進路や生き方を考え、その実現に向けての課題を解決しようとする態度」と定義しました。

学習プログラムについて

生徒へのアンケートを基に課題を把握し、総合的な学習の時間の四つの探究の過程と職場体験学習でのキャリア発達にかかわる諸能力（4能力領域8能力）とをかかわらせて育てたい能力・態度を明確にしました。これらを基にして、学習目標や学習活動を設定し、望ましい勤労観、職業観を育成することを目指しました。 ※参考資料：国立教育政策研究所「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み（例）」

総合的な学習の時間における探究の過程					
職場体験学習における主な学習活動		事前指導 ①課題の設定、体験先の選択・決定 ②体験内容の調査 ③社会性・マナーの習得 ④自分を再確認しよう ※研究授業実践Ⅰ ⑤事前訪問	職場体験 ・体験活動、調査活動	事後指導 ①職場体験発表会 ※研究授業実践Ⅱ ②礼状の作成 ③職場体験を振り返って ※研究授業実践Ⅲ ④職場体験学習のまとめ ※研究授業実践Ⅳ	
領域	育てたい生徒	能力	育成する具体的な能力・態度		
人間関係形成能力	○他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り協力・共同してものごとに取り組む生徒。	自他の理解能力	自分のよさや個性を理解する。 ※「振り返りシート」を活用した研究授業実践Ⅰ	自分のよさや個性が職業に役立つことを知り、自己の新たな可能性を見出す。	自分のよさや個性についての認識を深め、他者の良さや感情を尊重する。
		コミュニケーション能力	その場に応じたコミュニケーションの必要性を考え、コミュニケーションスキルを習得する。	習得したコミュニケーションスキルを活用し、社会人としての基本的マナーや言葉遣いなどを身に付ける。	習得したコミュニケーションスキルをもとにして、豊かな人間関係を築く。
情報活用能力	○学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす生徒。	情報収集・探索能力	職業に関する様々な情報を収集する。	職業に関する様々な情報を収集し、働くことの意義や役割の理解を深め、働く人の思いを感じる。	収集した職業に関する様々な情報を基に、働くことの意義や役割を理解し、自己の進路や生き方を考える。 ※「振り返りシート」を活用した研究授業実践Ⅱ・研究授業実践Ⅲ
		職業理解能力	職業について理解することができる。	職業に関する理解を深め、働くことの意義を考える。	職業に関する理解と働くことの意義を基に、今、自分がしなければならないことを考える。 ※「振り返りシート」を活用した研究授業実践Ⅳ
将来設計能力	○夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する生徒。	役割把握・認識能力		仕事上の役割を体験的に理解し、自分の果たすべき役割を認識する。	
		計画実行能力			自己の進路を考え、その実現のための進路計画を立てる。 ※「振り返りシート」を活用した研究授業実践Ⅲ・研究授業実践Ⅳ
意思決定能力	○自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程で課題や葛藤に積極的に取り組み克服する生徒。	選択能力	自己の将来や自己の適性、興味・関心と関連付けて体験先を選択・決定する。	選択した体験先が自己の適性、興味・関心に適合したものかを考える。	自己の個性や興味・関心を生かした進路を選択しようとする。 ※「振り返りシート」を活用した研究授業実践Ⅳ
		課題解決能力		進路に関する自己の課題を見つげ出す。	希望する進路の実現に向けて自らの課題を見だし、解決していくとする。 ※「振り返りシート」を活用した研究授業実践Ⅳ

「振り返りシート」について

学習プログラムを基に学習活動を設定し、学習目標の達成に向けた手だてとして「振り返りシート」を作成し、活用しました。これは学習活動を振り返り、自己について振り返るためのワークシートです。学習内容の系統性を考慮した<基礎シート>と生徒一人一人に応じた支援・指導を行うための<補充・発展シート>の二種類を作成しました。

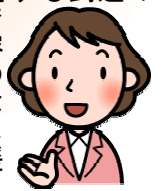
<基礎シート>

各時間での学習事項についての関連性を考慮した系統性のあるワークシートのことで、前時の学習内容を本時で改めて取り上げ、再確認したり、本時の学習事項を次時の学習へと発展させたりしました。これにより学習内容の確実な定着を図り、身に付けさせたい諸能力を高めることを目指しました。

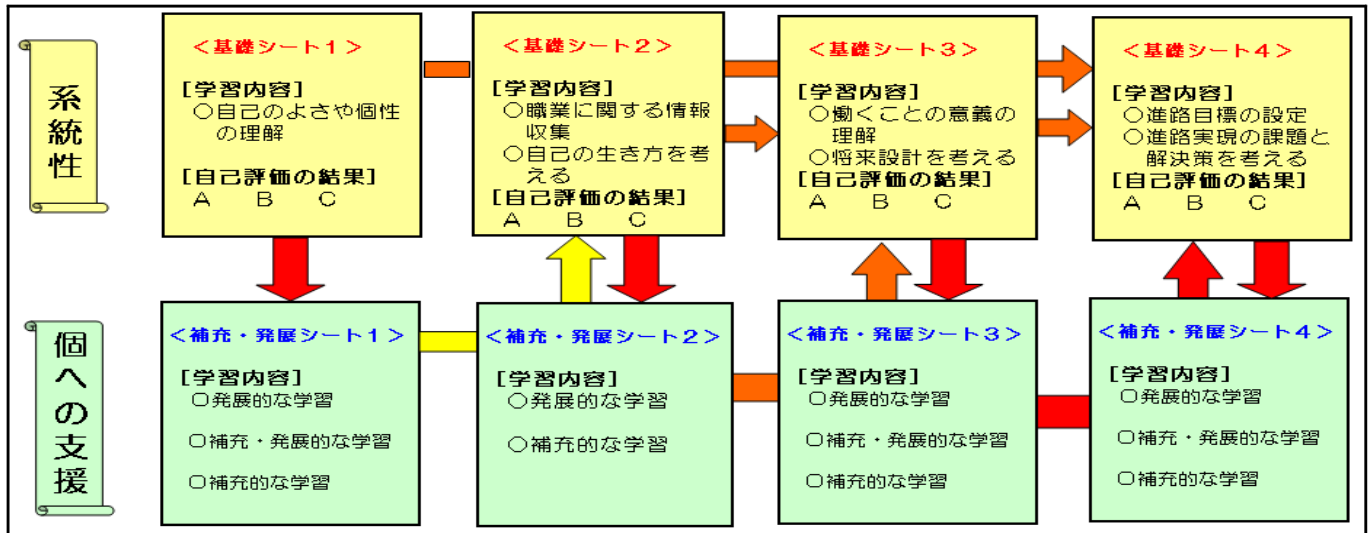


<補充・発展シート>

生徒一人一人の多様な実態や学習に対する到達の状況に対応したワークシートのことで、<基礎シート>で行った学習内容を補充し、達成状況が不十分な生徒の学習を支援したり、到達状況が十分な生徒の学習をより発展させたりしました。これにより個に応じた適切な支援・指導を行うことを目指しました。



「振り返りシート」の系統性・個への支援



「振り返りシート」の活用例

<基礎シート3>

☆ 本日の学習目標

☆ 職場での体験活動を振り返って、学んだことや感じたことについて自分と友達の考えをまとめよう。

☆ なぜ、人は働くのだろうか。働くことの意義について考え、話し合おう。

- ◎ 自分の考え
- ◎ 話合いで出された意見

☆ 職場体験で学んだことを基に、自分の進路実現に向けて必要なことは何かを考えよう。

☆ 自己評価

- ◎ 職場体験を振り返り、学んだことや感じたことをまとめることができたか。
- ◎ 働くことの意義を考えられたか。
- ◎ 職場体験学習で学んだことを基に、進路実現に向けて必要なことは何かを考えられたか。

☆ 自己評価が高かった人、低かった人はその理由を書きください。

☆ 今日の学習を終えて、学んだこと、気付いたこと、考えたこと、感想などを書こう。

事前に<補充・発展シート2>を活用して、学習事項の習得状況を確認しておく。

教師から提示された学習内容を基にして、本時の学習目標を自分の言葉で書かせることで生徒の課題意識を高めさせる。

職場での体験活動を振り返り、学び得たことをキャリア発達にかかわる4能力領域8能力と関連させてまとめ、小集団で話し合う学習を行う。これにより進路情報を比較・分類し、関連させ、情報活用能力を育成する。

職場での体験活動やこれまでの学習を基にして、働くことの意義についての自分の考えをまとめ、小集団で話し合う学習を展開する。

職場体験の学習成果を基にして自己の進路を考えさせることにより、将来設計能力を育てる。

学習目標に対する達成状況を4点尺度法で自己評価させる。その結果に応じて<補充・発展シート3>を用いた学習を行い、生徒の能力・態度の育成・伸長を図る。

自己評価の結果について考えさせ、学習に対する取組状況や学習目標に対する到達状況を確認させる。

本時の学習について総括的に振り返らせ、本時のまとめとする。

<補充・発展シート3>を活用することにより自己評価が高かった生徒の学習を発展させたり、自己評価が低かった生徒の学習を補充したりする。

研究の結果と考察

研究の成果

「振り返りシート」を活用した学習事項の関連を図った系統的な学習

「振り返りシート」を活用した生徒一人一人に応じた支援・指導

「振り返りシート」への生徒の記述



職場体験についてまとめる中で改めて自分の個性や適性、進路実現に向けてなど、いろいろなことを考えることができました。これからの進路についての考えをより深めていければいいと思いました。

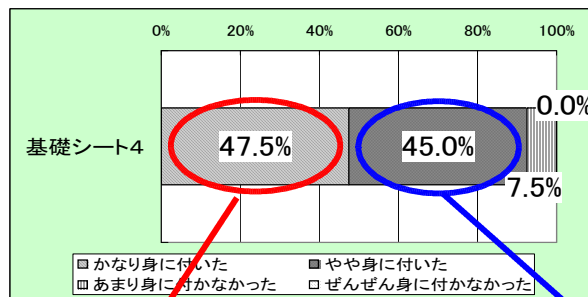


職業についての知識が深まり、これからの進路選択に役立ちました。自分の個性や職業の適性について考えることもできました。自分の進路について深く考え、それを実現するための努力目標をたてることができました。

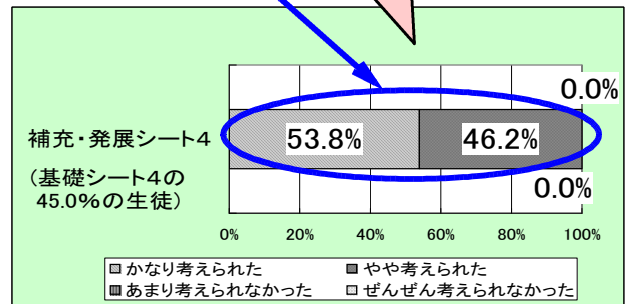
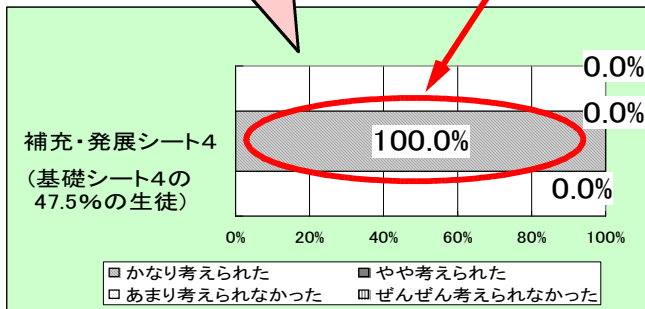
自己評価の結果

「希望する進路の実現に向けての課題を解決しようとする態度が身に付いたか」

「かなり身に付いた」と自己評価した生徒に対して<補充・発展シート>を行った結果、100%の生徒がさらに高次の学習目標を達成できました。



「やや身に付いた」と自己評価した生徒に対して<補充・発展シート>を行った結果、「かなり身に付いた」「やや身に付いた」と回答した生徒が100%に達しました。



職場体験学習が充実され、進路実現に向けての課題を解決しようとする生徒の意識を高めることができました。

研究の課題

より汎用性の高い「振り返りシート」に改善していくこと

系統的なキャリア教育を実践し、段階的なキャリア発達を促進していくこと

問い合わせ先

群馬県総合教育センター
担当係：高校教育研究係

0270-26-9214 (直通)